
転校生

真亜流

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転校生

【Nコード】

N7396C

【作者名】

真亜流

【あらすじ】

荻野晴は小6で転校。はじめての転校で傷つき戸惑いながらも立ち上がっていく。

第一話　転校

友というのは大きな存在だった。
楽しかった。

だけど。

明日この街を出て行く。

自分が決めたことじゃない。

そんなこと絶対いやだ。

すべて大人が決めたこと。

12歳の自分は何もできない。

抵抗したって無駄。

泣き叫んでも無駄だった。

修学旅行が終わってたったの七日後。

クラスの子はびっくりしていた。

それが苦しい。

このクラスに馴染めなかったからみんなに嫌われてるんだと、思った。

だけど色紙見たときそれは勘違いなんだと痛感した。

うちの近くの友達に本当の友達。

小1から中1くらいまでたくさんいた。

いつも誰かが遊びにきて楽しい。

なのに。

今となつては楽しかったせいでよけい苦しい。

言い出せなかった。

どんな顔するだろう。

泣くかもしれない。

告げた時はよく覚えている。

友達1人にダンボールを見せた。

みんな驚いた。

苦しかったけど、それしかなかった。

サヨナラ。みんな。

ついに車が出発。

雨だ。

悲しみの雨。

「えー。転校生を紹介します」背の低い男教師が児童みんなに言う。

「荻野晴さんです」

晴は礼をして「よろしくおねがいします」と、小さい声で言った。

学級委員らしい女子があいさつをしたがそれつきり話しかけてはこなかった。

丸野美歩という子と仲良くすることができたのは、あれから3日たつてからのことだった。

「あたしもね。転校してきたんだ」美歩は言う。

「ホント？」晴は嬉しかった、同じ悲しみをした人と仲良くできて。

「転校ってそう珍しいことじゃないでしょ」

「そうかなあ……」

好きな男の子が遠くに行っちゃたり、いろいろあつたなあ。

「転校生のくせに生意気」ふざけ半分で言われた。

宮部奈菜。学級委員のあの子。

晴の顔は笑ってたけど悲しかった。

くせに。

転校生のくせに。

転校生のくせに生意気。

いつまで転校生なんだろう。いつもお世話好きがやってきて、みんなにチャホヤされて……

早く。早く普通の人になりたい。

第一話「転校」(後書き)

何話まで続く分かりませんが宜しく願いします。
名前は違いますが、少しノンフィクションです。

「転校生のくせに生意気」も言われました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7396c/>

転校生

2010年11月27日17時29分発行